参事兼所長	管理監兼産業労働課長	係長	課員	主任

岐農商第258号
県公開 2005.5.19

~~＊2月18日　長谷川、加藤、役場職員~~
・定期立入りの際に赤褐色の土（？）のようなモノを見つけた。
・以前に地元民から役場へ通報があったようで、モノについての簡単な説明を役場には送付済み。
・その日のうちに役場から説明書の FAX をもらった。(2/19)
・現場担当者は、モノはこれといって、ビニール袋入りの「フェロシルト」書いてあるものを見せた。

＊2月20日　長谷川、加藤、地域振興局環境課森田
・作業中の社長を呼び再度モノについて訪ねたところ「詳しいことはよくわからないため、後日説明に行かせる」といって早速連絡をとっていた。
・詳細は後日きくこととした。先日の説明書より詳しい説明書が現場事務所でもっていたため一式を FAX でもらうこととした。その日のうちに環境課に送付され、その写しをもらった。

業者への指示
・埋め戻し用には良質の土砂を使うのが原則であり、一目見て一般的な土砂と違うことが区別できるほど異質の色をしており、このような紛らわしいモノは今後入れないよう指示した。

＊平成~~13~~ 14年2月25日　13時30分～15時　振興局環境課別室
出席者・伊藤建材　[redacted]、社長
・福田建設　福田専務
・振興局環境課　荒川　森田
・農林商工事務所　長谷川　加藤

○フェロシルトについての説明を受けた（主に伊藤建材[redacted]が説明）
・フェロシルトについては絶対的自信をもっている。けっして廃棄物まがいのものではない。
・成分や製造過程については別添資料のとおり。
・環境基準についてもクリアしている。水質についての独自調査結果では通常の土よりもよいくらいである。
・中濃地区の環境の人にも説明済であり、了解をもらっている。
・フェロシルトにはαとβの2種類あり、用途によって使い分ける。福田建設へはβの方を使用してもらっている。
・土に混ぜる割合によって様々な効能を発揮する。
　多く配分………緩い土を固める
　少な目に配分…土壌改良的役割。独自調査による植物生育比較でも効果が証明されている。
・愛知県の方のホームセンターには商品として置いてあり（置く予定？）一般の人でも手に入れることができる。（←以前、採取現場担当者からも「ホームセンターで…」との話があったため、役場職員が町内のホームセンターに見に行ったことがあるが置いていなかったとのこと。）
・官公庁の行う事業についても利用してもらえるよう働きかけている。瀬戸市には知り合いもいるので現在話を進めている最中である。
・自分もケナフ栽培の土壌改良や水質改善用として使用することを考えている。（←可児市か東濃方面でやる予定だといっていたが詳しくは聞き漏らした。）
・知り合いから「採取場内の地盤が緩いため重機作業がしづらく困っている」という話をきいたためフェロシルト紹介した。最初はダンプ2～3杯分を試しに入れてもらったら数日後「良くなった」と連絡をもらい、あらためて契約した（直接伊藤建材と福田建設が契約したわけではない。）
　製造者ー業者ー業者ー業者（伊藤建材）ーケンセイ産業ー福田建設
・現在福田建設へは四日市の製造元から直接搬入されているようである。　ケンセイ建設
・将来的には袋詰めにして売り出したい。その方が儲かるから。軌道に乗れば今回のような売り方はしない。

○環境課の意見
・話の内容から廃棄物にはあたらないと思われるが、土ともいえない。
・砂利採取場の埋立用土砂として適しているかどうかは農林商工事務所で判断してほしい。
・今後このようなモノが増えてくるだろうから埋め戻し用土砂等についての規定を作ったほうがよいのではないか。

＊3月8日　長尾、長谷川、加藤
・現地を調査。専務が対応した。
・先日社長からの話では、この場で産廃かどうかの断定はできないとのことで、入れないようにということまでは聞いていないとのこと。
・再度砂利採取の方からの指示「埋め戻しは土砂となっているから紛らわしいモノは入れないこと」を話し、今後新たに持ち込まないこと、現在あるモノについてもこれ以上他の土と混ぜたりしないことについて了解をした。

証拠書類 2